

2018年12月17日

横浜ゴム・「YOKOHAMA まごころ基金」が 子どもの学習支援学校「女川向学館」と海洋保全団体「JEAN」を継続支援

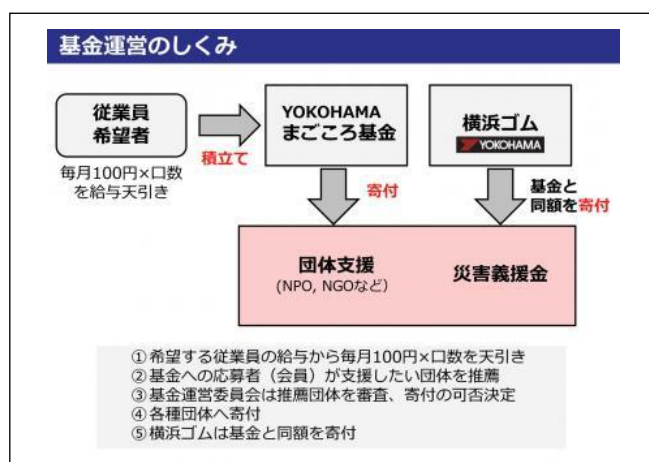
横浜ゴム（株）の従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金」は2018年12月、認定NPO法人「カタリバ」が東日本大震災で被災した子どもたちの学習支援と心のケアのために宮城県女川町に開設した「女川向学館」および、海洋の環境保全活動を行う一般社団法人「JEAN」へ活動支援金を寄付しました。それぞれの寄付金額は59万円と25万円で、横浜ゴムはマッチングギフト[※]として支援金と同額を寄付し、支援合計金額は「女川向学館」が118万円、「JEAN」が50万円となりました。両団体への支援は2017年に続き2回目です。

「YOKOHAMA まごころ基金」は、寄付を希望する従業員が会員となり給与から毎月1口100円を天引きし積み立て、集まった資金を環境保全や人権擁護などに取り組むNPO、NGOなどへの資金援助や重大な災害への義援金として拠出することを目的に2016年5月に設立しました。横浜ゴムは同基金支援額と同額を寄付する仕組みとなっています。

「カタリバ」（代表理事：今村久美）は2001年に設立され、首都圏の高校生向けのキャリア教育活動を行ってきました。活動の一環として2011年から東日本大震災で被災した子どもたちの学習支援と心のケアを行う放課後の学校「コラボ・スクール」を開校。「女川向学館」のほか、岩手県大槌町、福島県広野町、熊本県益城町にも「コラボ・スクール」を開校しています。

「一般社団法人 JEAN」（代表：金子博）は、1990年9月に日本で初めての「International Coastal Cleanup（国際海岸クリーンアップ）」（通称：ICC）に参加した有志によってスタートした環境NGO。漂着・散乱ごみの調査結果の集計、関係組織との情報共有や対策推進活動に加え、海洋ごみ問題の普及啓発のための講演活動や勉強会を開催しています。

※従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を拠出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み



このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）広報部 担当：岡
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570